

# §-1 選考基準全体動向

※全日制高校の第1次選考について

## 1次比率変更は13学科

県立高校改革I期がスタートし、学力検査を行うのは昨年の204学科コースから8減った196学科コースです。

調査書・学力検査・面接の比率の組み合わせは全部で15パターン。新制度導入から9パターンが採用されていましたが、今年は1つ減り8パターンでした。1次選考の比率を変更したのは昨年は22学科ありましたが、今年は13学科に減りました。最も多いのは調査書と学力検査が4割のバランス型で、全体の52%を占め、新制度スタート以来半数を超えました。

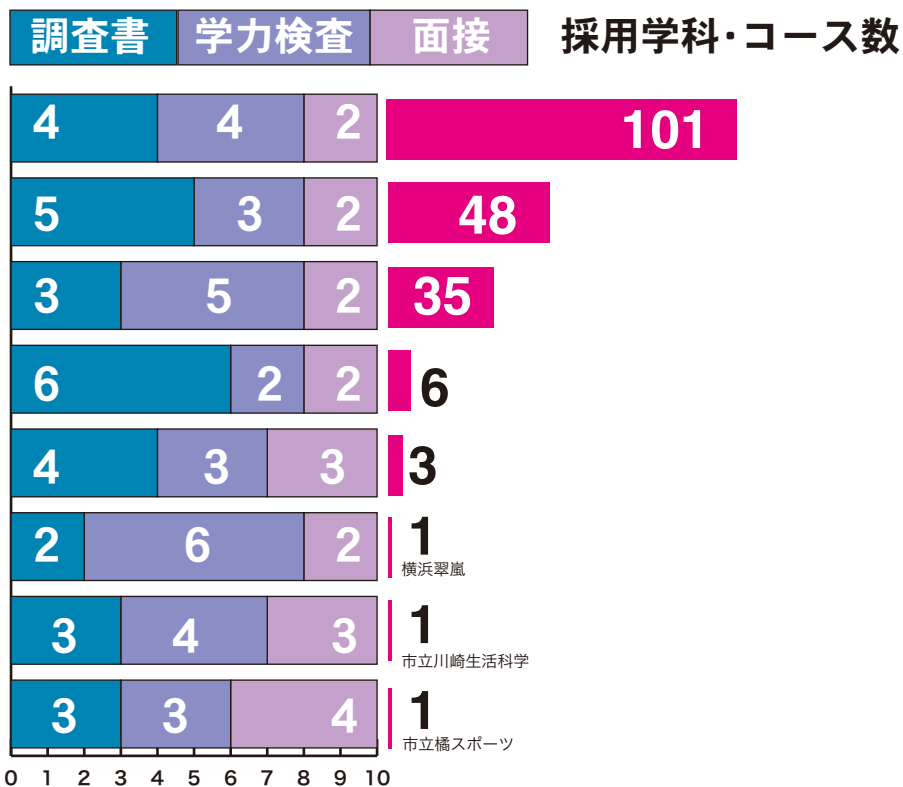
## 重点化は7増2減

調査書では各教科の数値を3教科まで2倍を限度に、学力検査では2教科まで2倍を限度に重点化できます。第1次選考でこの重点化を行うのは、56学科・コース(全体の29%)です。市立川崎(普)、藤沢西で重点化を廃止する一方、県立総合学科7校すべてで調査書の点数の高い1教科が2倍されるなどの変更を行っています。

## 特色検査は0増1減

学力検査に加え特色検査を実施するのは24学科・コースです。弥栄の音楽、スポーツ科学は1次選考比率を4に引き上げ、南が廃止しました。

### 第1次選考での比率



### 重点化の例

学校名	学科名等	重点化(第1次選考)
神奈川総合	個性化	[学力検査] 点数の高い1教科×2
川崎総合科学	デザイン	[調査書] 美術×2
横須賀	普通科	[調査書] 英語、国語、数学×2
<b>NEW</b> 有馬	普通科	[調査書] 英語×1.2
<b>NEW</b> 川崎	普通科	[調査書] 英・数・国×1.5



### 特色検査実施校 (クリエイティブスクール除く)

自己表現検査	横須賀・横浜緑ヶ丘・横浜翠嵐・希望ヶ丘・光陵・柏陽・湘南・厚木・平塚江南・神奈川総合(国際文化)・小田原・市立横浜サイエンスフロンティア
実技検査	市立川崎総合科学(デザイン)・市立横浜商業(スポーツマネジメント)・白山(美術)・上矢部(美術)・山北(スポーツリーダー)・厚木北(スポーツ科学)・市立橘(スポーツ)・市立戸塚(音楽)・弥栄(スポーツ科学・音楽・美術)・横浜国際

# §-2 県立進学重点校エントリー校、市立進学重点校の動き

## 南が特色検査を廃止

県立進学重点校エントリー校は17校、横浜市立進学指導重点校は4校指定されています。特色検査を実施するのはその半数を超える11校です。

特色検査得点は調査書・学力検査・面接得点(計1000点満点)に加算されるため、たとえば調査書の比率が3割であっても実際は右表のように下がることになります。

21校で実施される特色検査は、光陵のスピーチ以外すべて教科横断型のペーパーテスト、いわば適性検査の公立高校版です。

その「評価の観点」でほぼ共通するキーワードは「思考力」「表現力」。共通の検査でもそれらは今まで以上に重視されています。まずは各教科の知識と知識を活用する力をつけ、特色検査を到達目標にすえて学習をすすめたいものです。

### 光陵高校の変更点

評価の観点(前回)	評価の観点(今回)
・論理的思考力	・読解力
・表現力	・思考力
・課題解決力	・表現力

### 厚木高校の変更点

検査の概要(前回)	検査の概要(今回)
…総合的に活用して、設問に対する自分の考えを記述する。	…総合的に活用した思考力・判断力・表現力を把握するための検査を行う。

## 県立進学重点校エントリー校、市立進学指導重点校の第1次選考比率

※調査書割合の低い順に掲載



特色検査内の数字は検査時間

★…検査当日、学校が提示した課題について、自らの考えなどを口頭で発表する

# §-3 面接トピックス

## 比率は0増3減

面接の比率を変更したのは、金沢総合と秦野総合、専門学科に移行した厚木北スポーツ科学です。いずれも3割から2割へ減らしました。増やした学科コースはありません。比率3以上を採用するのは5学科コースのみとなり、196学科コース中191学科で面接の比率は2割です。

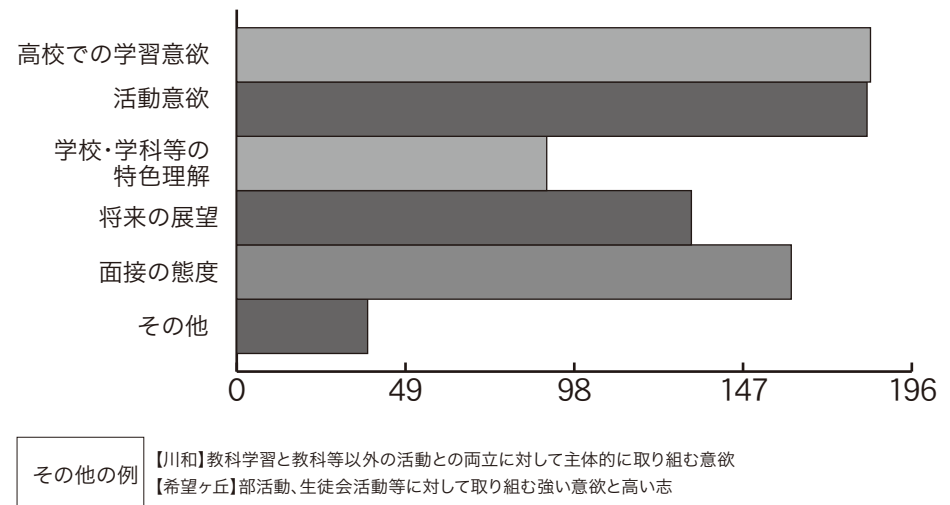
学校ごとの観点を変更したのは15学科コースです。「高校での教科・科目等に対する学習意欲」は184の学科コースで採用しています。

## 学校選びの参考に

新入試制度下での選考は4回を重ね、各校の選考基準の見直しは小規模にとどまっています。変更された学科・コースは県立高校改革による再編・統合や改編、川崎市立商業普通科新設(新校名は「幸高校」)などが中心です。

特色検査の実施有無や教科の重点化の内容など、各校の選考基準は「こういう生徒がほしい」というメッセージの表れでもあります。志望校選びに「早すぎる」はありません。中学1年生であっても、どんな高校がどんな特色を持っているのか、自分が興味を持てる、目標となる高校はどこか、ぜひ関心をもって調べてみましょう。

面接における「学校ごとの観点」採用数



## 神奈川県公立高校入試制度

中2と中3(2倍)の9科評定が資料です

2年後(3学期)	英	数	国	理	社	音	美	保	技	計
	5	5	5	5	5	5	5	5	5	45×1=45
3年後期仮(2学期)	英	数	国	理	社	音	美	保	技	計
	5	5	5	5	5	5	5	5	5	45×2=90

各教科100点満点、5教科の学力検査です  
・2教科の範囲で1以上2以下の係数を乗じて重点化できます  
 ・特色検査を実施する場合は3教科まで減らすことができます

知識問題に加え思考力・判断力・表現力重視の検査です  
**英語出題例**  
 会話文を読み、計画を考え20語以上30語以内の英語2文で書く。  
**【正答例】**(I am going to)see Movie A with Hanako at Kamome Movie Theater in the morning. Then,I will meet Taro in front of the library at1:30p.m. and do our English homework.  
「正解は1つ」なら解答があればOK。でもこのような問題は自分の解答が正しいかどうかの判断力をつけることも大切。勉強の仕方が変わる!

出願時に提出する面接シートをもとに1人10分程度の個人面接を受けます。面接官は2人以上です  
 共通の観点(下)に加え学校ごとの観点を質問されます  
 3段階で評定し点数化されます

入学希望の理由  
 中学校での教科等に対する学習意欲  
 中学3年間での教科等以外の活動に対する意欲  
・学校ごとの観点は事前に公表されます

必要に応じて「実技検査」が「自己表現検査」の特色検査を実施できます

**一次選考** 定員の90%をS値順に選考  
**二次選考** 残り10%を調査書以外の資料で選考

新入試制度の導入の経緯・背景などは中萬学院ホームページで詳しく解説しています